

学校感染症情報 症候群サーベイランスシステムについて

三重県では、各学校施設に協力していただき、感染症による欠席者情報を毎日このシステムに入力していただいています。

入力していただいた情報を活用して子どもたちの健康を守るために、各学校施設が対応をできるように、専門機関と連携し、感染症の拡大を防止します。

津保健所では、津市内の学校の感染症による欠席者傾向を毎月まとめさせていただき、情報提供いたします。



令和 7年 4月の様子 ～津市内の学校感染症情報～

(令和 7年 5月 23日入力分までを集計)



月を通して感染が多くみられた疾患

インフルエンザ（B型が若干多）、感染性胃腸炎、溶連菌感染症、
マイコプラズマ感染症

感 染 症 動 向

○インフルエンザB型による疾患が増加していましたが、閉鎖の措置が取られた施設はありませんでした。

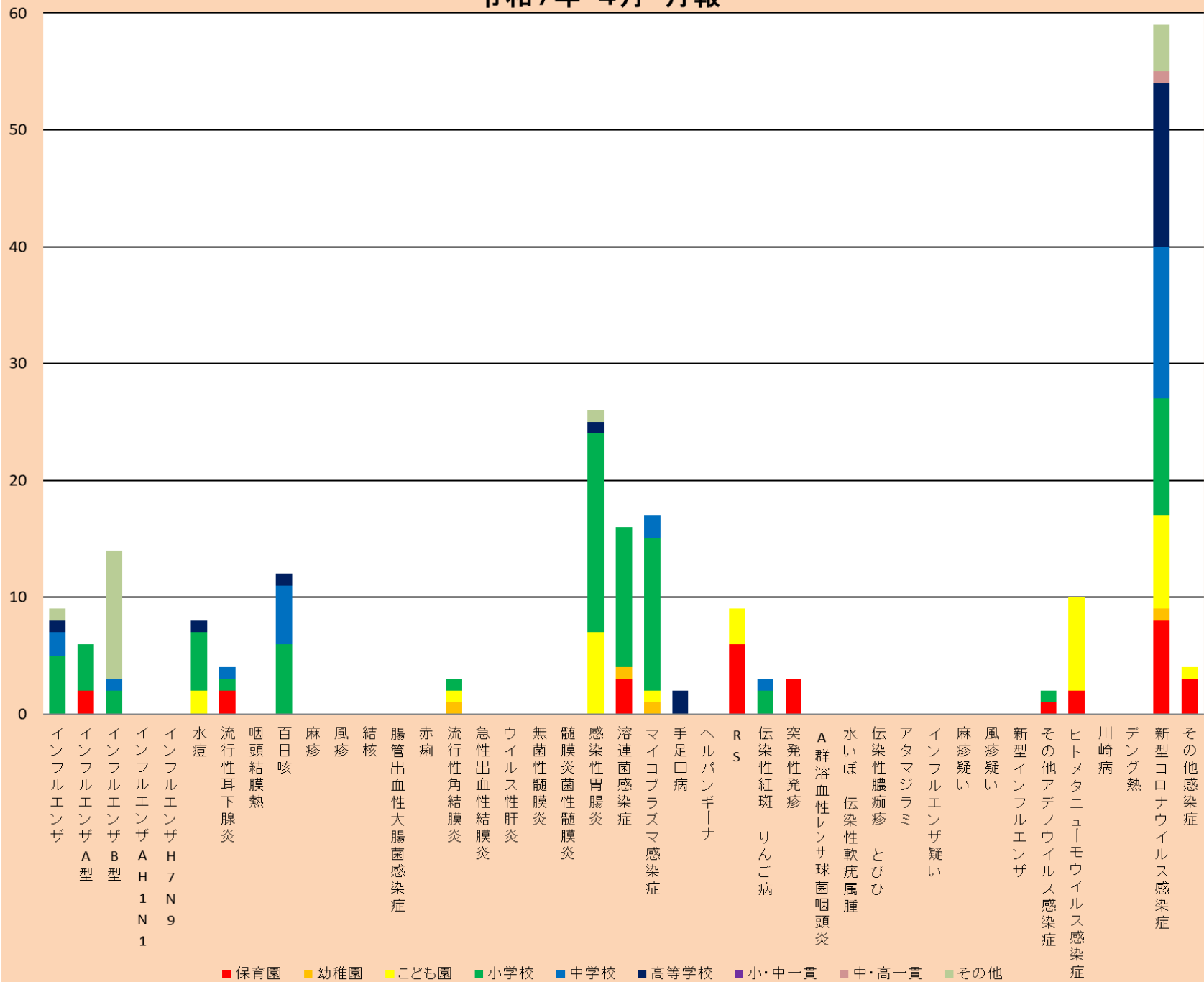
○溶連菌感染症も減少傾向ではありますが、報告があります。

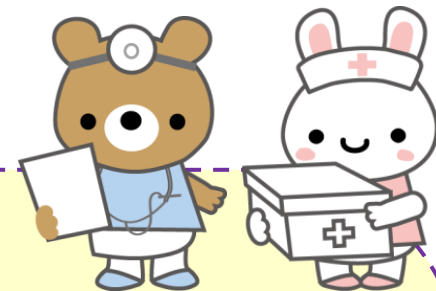
○感染性胃腸炎、マイコプラズマ感染症は前月より増加しています。

[学校症候群サーベイランスシステム] 令和7年4月 月報

疾患名	インフルエンザ	インフルエンザA型	インフルエンザB型	インフルエンザAH1N1	インフルエンザH7N9	水痘	流行性耳下腺炎	咽頭結膜熱	百日咳	麻疹	風疹	結核	腸管出血性大腸菌感染症	赤痢	流行性角結膜炎	急性出血性結膜炎	ウイルス性肝炎	無菌性髄膜炎	髄膜炎菌性髄膜炎	感染性胃腸炎	溶連菌感染症	マイコプラズマ感染症	手足口病	ヘルパンギーナ	RS	伝染性紅斑	りんご病	突発性発疹	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	水いぼ	伝染性軟疣属腫	伝染性膿痂疹	とびひ	アタマジラミ	インフルエンザ疑い	麻疹疑い	風疹疑い	新型インフルエンザ	その他アデノウイルス感染症	ヒトメタニューモウイルス感染症	川崎病	デング熱	新型コロナウイルス感染症	その他感染症
津市(人)	9	6	14	0	0	8	4	0	12	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	26	16	17	2	0	9	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	10	0	0	59	4	

令和7年 4月 月報





伝染性紅斑（りんご病）

2025年は増加傾向になっています。例年春先から増加する傾向があります。妊婦が感染すると、胎児水腫や流産・死産などの原因となることがあるので注意が必要です。

ヒトパルボウイルスB19による感染症です。季節性があり1～7月にかけて増加します。好発年齢は1～9歳くらいの学童です。感染後約1週間で軽い風邪症状を示す例があり、頑迷の蝶紅斑と全身のレース模様の紅斑丘疹が特徴。両頬が赤くなることから、「りんご病」とも呼ばれています。

大人が罹ると典型的な症状が見られず、麻しんや風しんとの診断がつきにくいようです。

潜伏期間

潜伏期間：発熱まで7～9日、さらに7～10日後に紅斑が見られる

予防方法

感染時期は特徴的な症状を示さず、紅斑出現時期にはほとんど感染力がなくなっているため、有効な二次感染防止策はありません。手洗いうがい・手指の消毒を励行しましょう。

特に、妊婦などは流行時期には風邪様患者には近づかないことが重要で、感染した場合は胎児の状態を注意深くフォローする必要があります。

